

令和6年度 東浅川小学校 学校経営計画報告書

八王子市立東浅川小学校
校 長 福岡 大作

学校教育目標

<目指す学校像>

楽しく、前向きに自己実現に取り組む学校

<目指す児童像>

○すすんで学びます

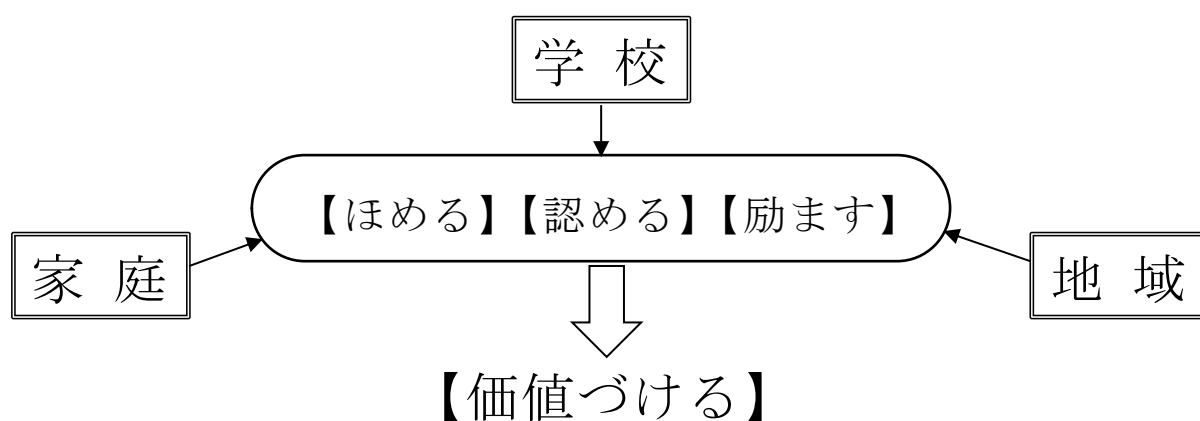
子供の個性と成長に合わせて、一人一人の意欲を引き出す「学び」を実現する。

◎心を磨きます

より高い目標に向かって、しっかりと希望と勇気を持ち、困難があっても、くじけずに努力して物事をやり抜くことができるようにするために、基本となる社会性を重視するとともに、様々な人との関わりを生かす。

○体を鍛えます

健やかな体を育成するために、自他の健康と体力に向き合い、日常的な実践に繋げる。



〔学力向上〕

【つけたい力を焦点化した授業改善】

【基礎基本の徹底】

【各調査の活用】

【地域教材や外部人材の活用】

- ・「自分の考えを伝え合い、友だちの考えを分かち合う授業づくり～全員参加の授業づくりを目指して～」をテーマに、国語科を教科の中心に据えて研究をすすめた。問いのある問題提示やユニバーサルデザインの視点に立った展開を工夫することで、全員参加の主体的な学びにつなげることができた。一人一人の思考を可視化することで、学び合いを深めることができた。また、自分の考えを表出したカードや ICT 機器を活用して、話し合いに生かすことができた。
- ・次年度は、より一層 ICT 機器を効果的に活用しながら、個別最適な学び・協働的な学びを土台とした主体的な学びの実現を目指す。
- ・「東浅川タイム」、「ぐんぐんタイム」、「習熟の時間」での取組や、「はちおうじっ子ミニマム」をはじめとする調査の実施によって、一人一人の学習状況を把握しながら、基礎基本の定着に努めることができた。これからも、「できない、わからない」に対応して丁寧に指導していく。
- ・高尾山、南浅川、東浅川町の施設や店舗・企業を教材とした学習を展開することにより、郷土愛を高めることに努めることができた。
- ・近隣の教育機関から講師を招き、外国語の学習、プログラミングやタブレット機器の技能向上につなげることができた。

〔豊かで丈夫な心と体〕

【いじめ問題への適切な対応】

【不登校対策】

【基本的な生活習慣の向上】

【安全な生活】

- ・令和 6 年度に認知したいじめは 3 8 件（2 月 2 8 日時点）あったが、すべて毎週行っている学校いじめ対策委員会で取り上げ、対応を検討し解消に向けた取組を行った。3 か月経過しても解消に至らない事案については、年度が替わっても継続的な対応を行っていく。
- ・家庭訪問やオンラインを活用したつながりを継続して行っている。新たに、陵南中学校「輪室」（別室登校用）や VLP の活用を模索している。今後も、関係機関との連携を深めながら、居場所の構築に努めていく。
- ・あいさつについて日常的な指導に加えて、「挨拶・掃除がんばる週間」や「青少対あいさつ運動」の機会をとらえて、あいさつの意義等について指導した。アンケートから、あいさつに対する児童の自己評価は、昨年度より下がった。一方、清掃に関しては、自己評価が上がっていることがわかった。廊下や階段における日常的なごみやほこりの量は少なくなっている。
- ・同じくアンケートから、校内での安全な過ごし方に関する項目については、昨年度より自己評価が下がっている。けがをしない・させないための工夫に取り組んでいく必要がある。

〔人権教育・特別支援教育等〕

【児童・教職員の人権感覚の醸成】

【特別支援教育等の充実】

- ・縦割り班活動、お相手さん活動、クラブ・委員会、各学校行事など、上級生が下級生をリードする活動を通して、年少者を大事にしようとする心情の育成に努めた。
- ・服務事故防止研修や日々の研修、行事の企画立案を通して、ジェンダー関連や体罰防止に関する教職員の知識・理解を高めた。引き続き、継続的な取組を通して、より実践力を強化する必要がある。
- ・特別支援学級の児童が、通常の学級の児童と一緒に活動する場面（交流・共同）を、計画的に行うことができた。特別支援学級に対する、通常の学級の児童の理解度をさらに高めるための手立てを講じていく必要がある。
- ・特別支援学級への転級や特別支援教室の利用に向けて、関係機関と連携し、適切な就学相談・調整を、保護者の協力のもとで行うことができた。
- ・5年生が、都立八王子西特別支援学校を訪問し、直接的な交流を行うことができた。また、図工などの作品を相互に展示し合うなどして、お互いの理解促進に努めることができた。
- ・計画的に副籍交流を行うことができた。次年度以降も、副籍を行う児童の実態に合わせて、さまざまな形での副籍交流を行っていく。

〔開かれた学校〕

【学校運営協議会との連携・協働】

【東浅川小学校保護者と教職員の会（PTA）】

【小中一貫教育】

【保幼小連携】

- ・毎月の学校運営協議会の定例会で、学校や児童の様子を報告し、学校の現状を理解してもらうと共に、学校行事の実施計画について協議・承認を経ることで、家庭や地域の考えを意思決定に反映させることができた。
- ・学校運営協議会が外部講師をコーディネートして、冬楽校を実施して体験的な活動を行うことができた。
- ・PTA本部役員を中心に、多くの保護者の方にボランティアとして力を貸していただき、行事を始めとする様々な教育活動を安全かつ円滑に行うことができた。地域も巻き込みながら、できるだけ負担感の少ないかたちでご協力いただけるよう、やり方を考えていく。
- ・陵南中学校グループでの小中一貫教育をすすめ、相互の授業参観や分科会での協議を通して、9年間で育てたい児童・生徒像「いつもで どこでも 自己を発揮できる人」の育成に努めた。
- ・「青少対あいさつ運動」の際、陵南中学校の生徒会が本校であいさつの啓発を行った。また、はちおうじっ子サミットにおいて、それぞれの児童・生徒が相互にかかわりながら、いじめ防止に取り組むことができた。
- ・保育園児が来校し、交流活動を行うことができたが、職員の交流において、入学前の情報引継ぎ以外に、より一層の充実が必要である。